

2011年3月東日本大震災後と来年に向かって頑張ろう！

## 一瞬にして消えたテレイン

入江 崇(東北大OB) 調査・作図の  
荒浜が跡形もなく消えた。

## 再三の開催期日延期

今年の東北大主催大会は開催できるか  
**頑張れ！福島県協会**

どうなる原発の放射性物質の影響

## がんばる岩手県有志

岩手大・岩手県立大の共催大会、有志  
が立ち上がった安比高原大会

## さくらんぼ大会開催事情

来年は面白いぞ！

## 巨大津波が荒浜を消した

入江 崇(東北大 OB)が学生時代にほ  
ぼ単独で調査作図した「荒浜」が跡形もな  
く消えた。

犯人は3月11日の巨大な津波。

現在、生存している人間(人類)は誰も  
想定できない、1000年に一度と言われる  
未曾有の巨大津波の押し波・引き波で  
砂防林のクロマツ林は、その西側の貞山  
掘とともに跡形もなく消えてしまった。

初版の「荒浜」が公開された詳細は  
知りませんが、1997年秋に東北大 OLC  
の練習会が開かれているので1997年に  
は完成していたと思われる。

その後、輕易に部内大会や練習会に  
利用されてきたが、2004年第27回東北  
大大会と2010年第33回東北大大会  
は多数の参加者を集めて開催された。

2004年大会は真夏の8月、故米本路  
憲が「荒浜貞山堀」にリメイクして行  
われた。筆者もコントローラとして関  
わり米本君の思い出が詰まっていた。

「荒浜」は、昨年が最後の大会にな  
ったが、15年間東北大のエリートをや  
て幾多の思い出を残し永遠に消えた。



写真は第33回東北大大会で太平洋  
を横目に見ながら海岸を走る参加者  
(o-news.net から転用)



2010年東北大大会競技地図  
リメイク3度目の「荒浜蒲生」。



右側の女性が広げている地図は2004年  
故米本路憲作成の「荒浜貞山堀」？

## 大震災の影響？

### 今年度の東北大大会

第34回東北大大会の2011年開催が  
心配です。8月、大会に関する情報が  
東北大ホームページは下記のコメント  
を残しています。

・諸事情により一時的に大会HPへの  
リンクを切らせていただきます。大会  
は開催いたしますのでご安心ください。

筆者は隣県の山形を居住地と定めて  
30年、毎年、家族で参加する東北大大  
会が楽しみにしています。

他大学は新入生入部が停滞気味の中、  
東北大は昨年、本年と多くの新入生が  
入部し、その活躍を期待していました  
ので気がかりです。

**頑張れ！東北大！**

## 北東インカレ・東北開催

8月21日、毎年夏合宿で行われてい  
た「北海道・東北学生オリエンテーリ  
ング選手権」が山形県で開催された。

これまで北東インカレは、夏合宿の  
期間中に愛知・静岡・栃木で行われて  
いた。

テレイン(地図)、会場に対応できる  
候補地に懸念があったのかもしれない。

実行委員会から「沼の森」開催の打  
診があり、続いて北東学連からの協力  
要請に筆者は喜んで応じ、一部渉外に  
も手を貸した。

目的は移動費等の経費軽減と聞くが、  
それによる効果は参加者の増加とブロ  
ックの活性化に現れていると感じた。

当日は生憎雨天であったが、結果は  
プランナーの期待に応える熱戦が展開  
された。

大震災以降、復興に向かってその頑  
張りに世界から注目されていますが、  
北東インカレが来年以降もブロック内  
で開催されることを切に希望する次第  
です。

今年度のインカレロングに北東学連  
枠は男子12人、女子9人(+)1人と  
なっていると聞きました。

今年度は学生ができる分際として、  
例年以上に暴れまくり、一人でも多く  
の入賞者を出してほしいと心から願っ  
ています。

## 原発の影響が懸念

### 福島県協会

東京電力福島原発の事故が、福島県  
オリエンテーリング協会の事業活動に  
多大な影響が考えられる。

J0Aは東日本大震災の被災会員のサ  
ポートを決議したと聞いたが、筆者は  
具体的には不承知なのでここでのコメ  
ントは差し控える。

大震災被害が少なかった山形に住む  
筆者は、何かお手伝いと思い「さくら  
んぼ大会」に原発避難者に参加費無料  
告知を発表し、最近では福島県協会関  
係者に、全国リレーのセレクション・ト  
レーニング会場として、地図・テレイン  
の利用申し入れをしましたが、何ら  
の回答がありません。

事情は分かりませんが、個人的に少  
しさみしい思いをめぐいさせません。

8月21日、北東インカレ会場で入手  
したチラシに福島県協会発行の主催イ  
ベント募集要項がありました。

タイトルは「初秋の福島オリエンテリングフェスティバル 2 day's!」。

開催日が9月10・11日なので、本誌発行のころは既に終わっていますが、メーリングリストにも広報がありませんので県協会内の行事なのだったのでしょうか。

筆者は、これまで公私にわたり、様々な形でお世話になってきましたので、この機会に恩返しのためで何かできるものを思案・模索してご案内したいのですが、すべて空振りを実をあげていません。

うがった推測ですが、JOAから退会させられた協会の支援は受けられない面子でもあるのだろうか。

何れにしても、あのチラシが福島県協会活動の証左なので一先ず、と、言うところでしょうか。

## がんばる岩手県有志達

### 岩手大・岩県大会、安比高原大会

10月16日、「岩手大・岩手県立大会」が岩手町沼宮内で行われる。

地図は2003年作成「子抱」のリメイクのようだ。

要項によると、岩手大OBの信原靖がイベントアドバイザーだが、実行委員長はじめ運営責任者・競技責任者の3要職が女性のように何とも頼もしい限りだ。そういえば先に行われた北東インカレのW s 優勝者も学連登録2年の高橋美誉(岩大)だった実績がある。

併せて前日大会として10月15日、安比高原ブナの駅で「安比高原大会」が開催される。

地図はNew map「安比高原」、調査・作図は東北大OBで出身地で活動している日下雅広。印刷にも作図規定にこだわる彼のマップは楽しみだ。

実行役員は岩大4年の男性群なのでブナ林の可成り良好なトレインを縦横に駆け回るコースが期待できる。

安比高原でペンション「MIWA」に宿をとり、オーナーの三澤儀男氏とオリエンテリング談義に耽るのもお勧めだ。

岩手県協会は、学生クラブ以外に長らく活動が見られなかったが、三澤氏と日下氏がどっしり居を構えて頑張っているのが今後の活性化が進むものと思います。

## 青森・秋田・宮城県協会

青森県協会、山形県協会同様にJOAから退会勧告を受けて退会、復帰は容易ではない。

この春著名なマッパーで、トレイルOで大活躍している田中徹氏が、八戸

市に転勤された。青森県協会はこの機会に田中氏の指導を仰ぎたいものだ。

秋田県協会、ワールドゲームの開催も引き受け、元JOA会長小野清子氏の出身地でもある秋田県、最近では北欧の杜で毎年2月行われているウィンターゲームズの併設として、山田敦史氏がスキーOの開催で頑張っている。

2012年北海道・東北選手権の開催も決まっているが、聞くところによると財政的に厳しく、会場予定の地図調査も途中で打ち切りしたとか聞こえてきます。

宮城県協会、大震災で甚大な被害県であり、お気の毒にも菊地理事長宅も居住不能になり引っ越ししたと聞く。

ブロック会長でもある岡本会長の消息情報は持ち合わせていない。

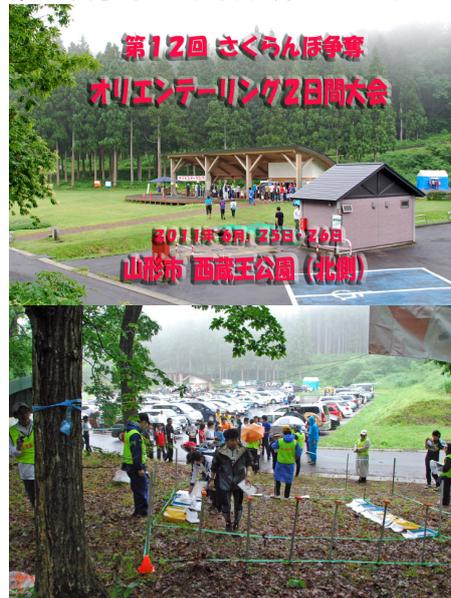
事業も今年度の計画は聞こえてこない。現時点で東北ブロックの事務局は機能していない。

不幸の中で東北大及び宮城学院女子大(MG)の学生クラブが、健在で元気に活動してくれているのは幸いなこととみなすべきだろう。

## さくらんぼ大会を続ける

### 山形県協会

#### 第12回さくらんぼ大会(6月25-26日)



雨の中、続々会場に集まる車と参加者  
スタートエリアから / 撮影上林弘敏

山形県協会主催の「さくらんぼ大会」今年度は東日本大震災を受けて開催の中止も真剣に検討した。

意を決して開催することにしたのは、国内の各地から強い開催要望と応援、例年の県外サポーター。そして寺嶋一樹氏の強いボランティアの申し出であった。

それに加えて大学院生になった東北大OB/OGの学生たちの役員志望に元氣

づけられたことが決定弾だった。

昨年から予告していた会場は大震災の避難者で利用不能が判明し、急きよ青空会場の蔵王に変更し、マッパーの町井・日下、そして競賞の柏倉が大会まで制約された残時間を調査に走り回ったのでした。

今年の参加者も事前申し込み数が350名を超えて過去最高になった。

お目当てのさくらんぼも、今年は入賞賞品の他ミドルレースでフィニッシュ全員に進呈したことも、豊作で美味しかったことに加えて好評であった。

カテゴリも盛り沢山で、ミドルの外新入生を対象としてモデルイベント、ナイトO、ロングそしてクイックOをコントローラ委嘱した藤島由宇氏が国内で初めて?予選・決勝を行った。

梅雨時期で当然のように雨天になったが、表彰式の最後まで会場に居てくれた参加者の皆様、そしてボランティアで運営役員を引き受けてくれた皆様に厚く感謝し心から御礼申し上げます。

さくらんぼ大会 来年は新トレインで新企画、今年度キャンセルした蔵王温泉体育館を会場に予定しています。

6月30日-7月1日を予定しているので、村山地方はさくらんぼ観光客でにぎわいますが、蔵王温泉の収容力で宿の不足心配はないでしょう。

レースカテゴリは日程的・地形的にナイトOの実施に検討を要する部分がありますが、例年通り二日間大会を行います。

新企画と銘打っているのは、夏季も運転しているロープウェイやスカイケーブルを利用し、標高1400mの中央ゲレンデまで登っていただき長距離のダウンヒルレースを検討し、地図調査に入ります。

どうぞご期待ください。

(武石雄市)



来年も同時刻スタートでこんな光景が見られるか? 写真撮影・上林弘敏